

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成30年2月23日
学校名	大阪教育大学附属特別支援学校
PTA会長名	大西 扶由子

実施概要	実施活動名	ふようタイム「地域・校内活動」
	実施日時	平成29年度通年 5/26, 6/16, 6/30, 7/14, 11/10, 11/24, 12/8, 1/19, 2/9
	実施場所	大阪教育大学附属特別支援学校とその周辺
	実施目的	学部を越えた関わりの中で互いを思いやる心を育て、様々な活動を通して人間関係を広げる。学校周辺の清掃を通じて、地域の方への感謝の心を育てつつ、環境を整備する大切さを知る。
	実施内容	地域の清掃を、学校周辺3エリアで行う。（雨天時は校内清掃を実施する。）
	実施方法	小学部・中学部・高等部を縦割り3グループにして活動を行う。
	参加人数	小学部15名、中学部18名、高等部20名

報告事項	内容	本校では、各学部の基礎集団より大きな集団である小学部・中学部・高等部の関わりにおいて人間関係を築く基礎作りや、何らかの手段でコミュニケーションをはかる社会性を養っていく。上級生が下級生の面倒をみるという「お兄さん、お姉さんの役割」を意識し、見本となる姿を意識することにもなっている。その時間を今年度は、ふようタイム「地域・校内清掃」の回数を増やし設定することとした。校内、地域、そして成人式・研究大会・卒業式等の準備や清掃にも取組んだ。中学・高等部になれば、清掃活動への意識を高めることで「自分がきれいにするんだ」という自覚と責任の元、清掃する意味を知り、それが卒業後の進路となる生徒も居るかもしれない。もちろん、小学部の子どもも、ゴミはゴミ箱に捨てる、きれいな環境を作るという気持ちを育てていきたい。地域への意識や公共マナー等にも繋がっていくことを願っている。学校周辺の喜連地域を3箇所に分かれて実施した。学部の都合もあり、今年度は、2学部での活動も行ったため、様々な関係性を気付くことができた。
	結果	学部の通常の清掃とは少し異なり、普段自分が取組まない場所での清掃を行うことで、「協力する」「教える・教えてもらう」という意識が高まる。また、地域に出た時には、行き交う人や声を掛けてくれる地域の方とのつながりも大切にしながら、自分たちの仲間意識も強くなる。一人が箒、一人がちりとり、一人がつまみバサミ一人がゴミ袋という形でペアやグループで取組んだ。中には、一人でどんどん行く子どもも居たが、グループの友だちと歩調を合わせないといけないと意識できたし、協力しなければ難しいということも意識できたはずだ。それぞれに掃除用具を手に持ち、役割を担当したが、やはり新しく持ちやすい箒や、蓋付きのちり取りなど清掃道具が揃っていてこそ、意欲も高まり、取組みやすかったようである。実際、箒の使い方や、はき方、ゴミの集め方など難しい面があるが、道具がきれいであれば、「やってみよう」という気持ちからスタートできたようである。
	所感	子どもたちは、「きれいなところをきれいにする」のは好きだが、「汚いところをきれいにする」ことは往々にして苦手である。だから、清掃道具がきれいに新しくなることによって、手に持ち、どこをきれいにするか、競争のように取組む姿が見られた。掃除用具にだけ頼ってはいけない部分もあるが、取っ掛かりとしては、それを手に持ち、清掃という活動に友だちや先輩後輩と一緒に取組むことができれば、次に世界（ステージ・0意識）につなげていけると考える。ありがとうございました。

添付書類

領収書、収支決算書
保護者の感想、教員・生徒の感想

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日 平成30年2月23日
 学校名 大阪教育大学附属特別支援学校
 ふようタイム

生徒の感想

ほうき・ちりとり 使用しての感想

- A「新しいほうきで気持ちよくそうじができます。」
 B「ちりとりが動くのでゴミが落ちないです。」
 C「ゴミがつかみやすいです。」



教員の感想

- ・新しく、気持ちいいので、今までより取り掛かるのが早かった。
- ・箒の先がしっかりしているので、ゴミをキャッチしやすく、掃除の時間が早く終わります。
- ・蓋付きちり取りがとても活躍しています。

地域清掃の様子



カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月23日
学校名	大阪教育大学附属特別支援学校

ふようタイム

保護者の感想

- ・掃除好きになってくれればうれしい。
- ・使い古したものは使いにくいことも有るので、新しい掃除道具を買ってもらったら、使いやすいと思う。
- ・まだ、あまりうまく掃除はできないけれど、少しでも掃除をする機会が増えて、慣れていってくれたらいいと思う。
- ・学部間の交流ということもあって、刺激的だと思う。
- ・お姉さんらしく、お兄さんらしくしていないかもしれないけれど、ちょっとは意識すると思う。
- ・地域に清掃に出ることで、少しでもこの学校のことや、子どものこと、知的障害のある子どもがここにいることを知ってもらえたら嬉しい。
- ・熱い中はしんどいとおもうので、水分補給をちゃんとして頑張ってほしい。
- ・先生も大変だと思うけれど、いろんな活動を取り入れてほしい。
- ・掃除道具でも、なんでも新しいと気持ちがいい。